

令和元年度病害虫発生予報第8号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	うどんこ病	少	少
	褐斑病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ (防除情報15号)	多	多
	コナジラミ類	並	やや多
トマト	黄化葉巻病 (注意報第6号)	多	多
	コナジラミ類	並	やや多
	ハモグリバエ類	やや少	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	炭疽病 (<i>G.cingulata</i>)	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類 (注意報第5号継続)	多	多
	ハスモンヨトウ	並	並
	オオタバコガ	並	並
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少
	ヨトウムシ類	並	並
	オオタバコガ	並	並
	アオムシ	並	並
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	やや多	やや多
	オオタバコガ	並	並
かんきつ	ミカンハダニ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(7筆)の結果、発病葉率は0.3%(5.7%)、発生圃場率は28.6%(53.4%)であった。

2. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(7筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率1.6%)。

3. ミナミキイロアザミウマ

令和元年11月15日付け、**病害虫発生予察防除情報第15号**による。

4. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 11月前期の巡回調査(7筆)の結果、寄生葉率は7.6%(6.3%)、発生圃場率は71.4%(62.3%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除する。

イ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤を連用しない。

トマト

1. 黄化葉巻病

令和元年11月15日付け、**病害虫発生予察注意報第6号**による。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 11月前期の巡回調査(9筆)の結果、寄生葉率は1.7%(2.9%)、発生圃場率は55.6%(51.9%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除する。

イ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤を連用しない。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 11月前期の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(被害葉率0.6%、発生圃場率13.6%)。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(26筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.5%、発生圃場率0.5%)。

2. 炭疽病 (*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(26筆)の結果、発病株率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は7.7%(7.4%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(26筆)の結果、寄生株率は1.8%(1.7%)、発生圃場率は26.9%(25.5%)であった。

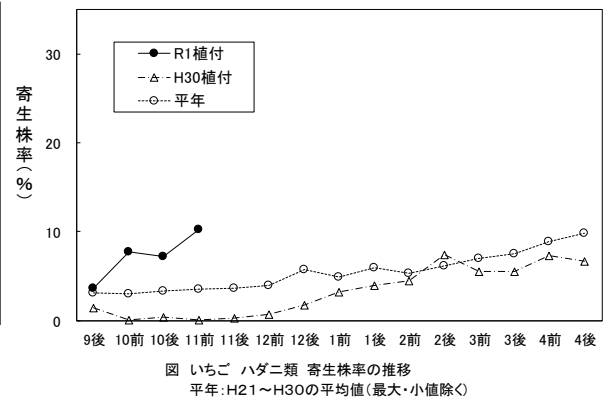
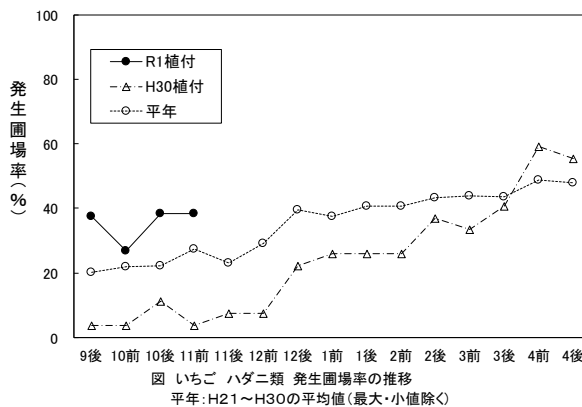
4. ハダニ類

令和元年11月1日付け、**病害虫発生予察注意報第5号**による。

なお、その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

ア 11月前期の巡回調査(26筆)の結果、寄生株率は10.3%(3.6%)、発生圃場率は38.5%(27.3%)であった。



イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(26筆)の結果、食害株率は3.1%(2.6%)、発生圃場率は50.0%(36.6%)、寄生株率は0.9%(0.4%)であった。

6. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(26筆)の結果、寄生株率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は7.7%(6.2%)であった。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.3%(3.7%)、発生圃場率は25.0%(13.1%)であった。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去10か年平均発病株率0.1%、発生圃場率0.8%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は1.3%(8.0%)、発生圃場率は25.0%(58.1%)であった。

4. ヨトウムシ類 (ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、ハスモンヨトウの寄生株率は2.0%(0.5%)、発生圃場率は25.0%(9.4%)であった。また、シロイチモジヨトウの寄生株率は0.7%(1.2%)、発生圃場率は16.7%(16.7%)であった。ただし平成27年度まではその他ヨトウムシ類で調査を行った。

5. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.7%(0.5%)、発生圃場率は8.3%(11.5%)であった。

6. アオムシ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(0.2%)、発生圃場率は8.3%(3.3%)であった。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.1%(0.0%)、発生圃場率は20.0%(4.2%)であった。

3. オオタバコガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率0.0%、発生圃場率0.8%)。

かんきつ

1. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1 1月前期の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は3.4%(5.4%)、発生圃場率は33.3%(49.8%)であった。

【参考】

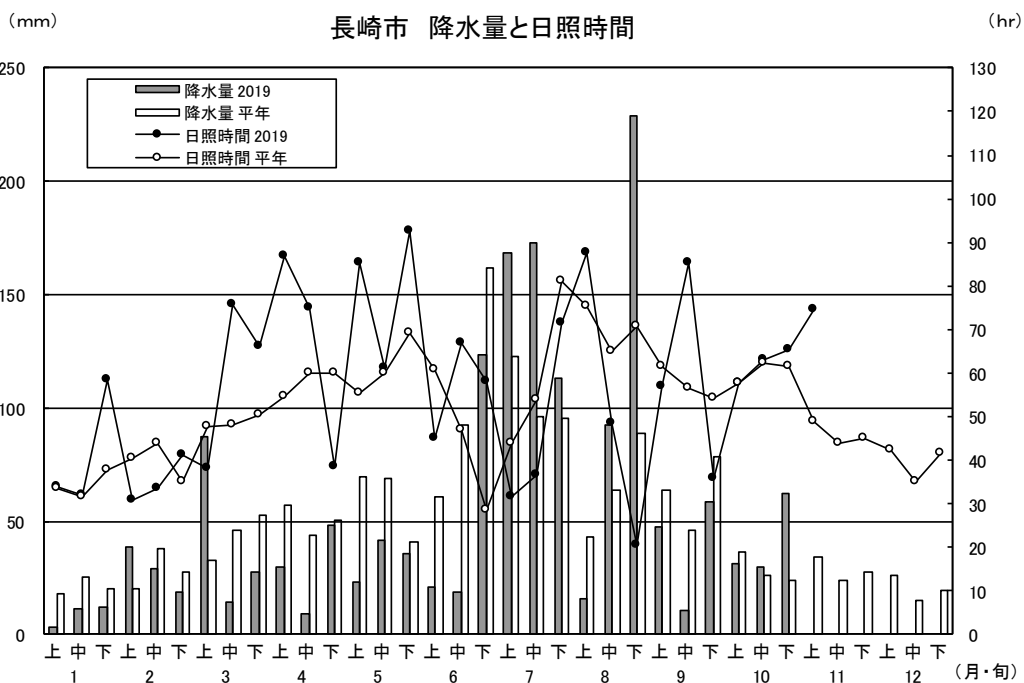
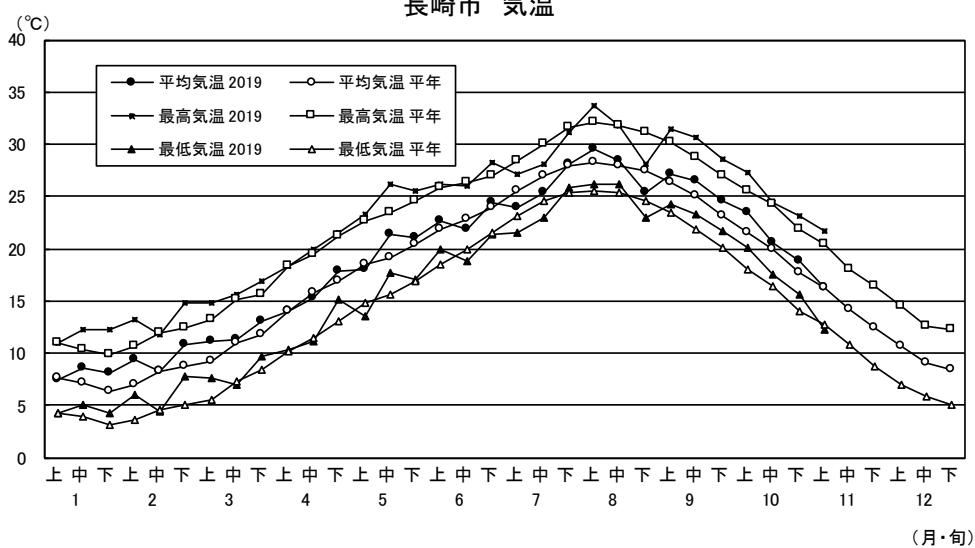
(令和元年11月14日発表 1か月予報 福岡管区气象台)
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	20	70
降水量	30	30	40
日照時間	30	40	30

※予報対象地域：九州北部地域

令和元年の気象経過 (長崎地方气象台)

長崎市 気温



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

